

## 別表第1 (第2条関係)

## 経済・経営学研究科授業科目

## (1) 博士前期課程

## ① 地域・国際経済政策専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
経済学基礎	経済理論	1・2		2	1 演習の中から1科目 または2科目4単位以上 上修得  2 30単位以上修得 (②経営学専攻の授業 科目および③看護福祉 学研究科社会福祉学専 攻の授業科目を含むこ とができる。ただし、演 習以外の科目を8科目 以上(そのうち地域・国 際経済政策専攻科目を 7科目以上)修得  3 修士論文指導教員が 担当する専攻演習Ⅱが 「専攻演習Ⅱ〔主〕」と なる
	経済政策特論Ⅰ	1・2		2	
	経済政策特論Ⅱ	1・2		2	
	財政学特論	1・2		2	
	統計・計量Ⅰ	1・2		2	
	日本経済史特論	1・2		2	
	ワークショップ(情報・応用経済)	1・2		2	
地域公共政策	地域経済特論	1・2		2	
	海洋ビジネス論	1・2		2	
	環境政策	1・2		2	
	食料・農業政策	1・2		2	
	公共管理論	1・2		2	
	公益事業特論	1・2		2	
	証券市場特論	1・2		2	
	ワークショップ(地方行政論)	1・2		2	
ワークショップ(地域開発)	1・2		2		
国際経済	国際経済特論	1・2		2	
	中国経済特論	1・2		2	
	ロシア経済特論	1・2		2	
講特義別	経済・経営学特別講義Ⅰ	1・2		2	
	経済・経営学特別講義Ⅱ	1・2		2	
演習	専攻演習Ⅰ	1		2	
	専攻演習Ⅱ〔主〕	1～2	4		
	専攻演習Ⅱ〔副〕	1～2		4	
	専攻演習Ⅲ	2	2		

## ② 経営学専攻

区分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		備 考
			必修	選択	
マ ネ ジ メ ン ト	現代経営学	1・2		2	1 演習の中から1科目 または2科目4単位以上 修得  2 30単位以上修得 (①地域・国際経済政策 専攻の授業科目および ③看護福祉学研究科社会 福祉学専攻の授業科目 を含むことができる。 ただし、演習以外の科目 を8科目以上(そのうち 経営学専攻科を7科目 以上)修得)  3 修士論文を提出する 場合、指導教員が担当 する専攻演習Ⅱが「専 攻演習Ⅱ〔主〕」となる。  4 プロジェクト研究を 選択した場合、34単 位以上取得 (①地域・国際経済政策 専攻の授業科目および ③看護福祉学研究科社会 福祉学専攻の授業科目 を含むことができる。 ただし、演習以外の経営 学専攻の科目を7科目 以上修得)
	経営財務戦略論	1・2		2	
	経営情報特論	1・2		2	
	生産管理・生産革新論	1・2		2	
	実践コンサルティング論	1・2		2	
	企業経営のためのケース分析	1・2		2	
	現代企業論(注)	1・2		2	
	経営品質論	1・2		2	
	マーケティング戦略論	1・2		2	
企 業 会 計 ・ 法 務	人的資源管理特論	1・2		2	
	ワークシヨップ(ベンチャー企業・起業 (創業)論)	1・2		2	
	会計学特論	1・2		2	
	管理会計特論	1・2		2	
	企業の財務報告・監査	1・2		2	
	ビジネス法務	1・2		2	
	企業経営と法	1・2		2	
国 際 経 営	税法	1・2		4	
	会計制度論	1・2		2	
国 際 経 営	国際ビジネス論	1・2		2	
	国際比較経営論	1・2		2	
講 義 特 別	経済・経営学特別講義Ⅰ	1・2		2	
	経済・経営学特別講義Ⅱ	1・2		2	
演 習	専攻演習Ⅰ	1		2	
	専攻演習Ⅱ〔主〕	1～2	4		
	専攻演習Ⅱ〔副〕	1～2		4	
	専攻演習Ⅲ	2	2		

(注) 2019年度以前入学者は「現代日本企業論」と読み替えて履修できる

## ③ 看護福祉学研究科社会福祉学専攻科目

区分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		備 考
			必修	選択	
社 会 福 祉	社会政策特論	1・2		2	
	社会保障特論	1・2		2	
	社会福祉管理・経営特論	1・2		2	
	社会調査特論	1・2		2	
	社会福祉環境特論	1・2		2	

## (2) 博士後期課程

## ① 経済研究専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
専攻科目	<b>【応用経済学研究】</b>				4単位修得
	応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅰ	1・2		2	
	応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅱ	1・2		2	
	応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅲ	1・2		2	
	<b>【地域経営研究】</b>				
	地域経済論特別演習	1・2		2	
	財政・文化経済学特別演習	1・2		2	
	地域産業論(農業)特別演習	1・2		2	
	経済学史特別演習	1・2		2	
	<b>【経営管理研究】</b>				
	会計学特別演習	1・2		2	
	現代経営学特別演習	1・2		2	
	労働経済論特別演習	1・2		2	
	現代日本企業論特別演習	1・2		2	
	<b>【北東アジア経済研究】</b>				
	東アジア比較経済史特別演習	1・2		2	
	北東アジア経済特別演習	1・2		2	
	中国経済論特別演習	1・2		2	
	ロシア経済論特別演習	1・2		2	

別表第1 (第2条関係)

## 2 生物資源学研究科授業科目

## (1) 博士前期課程

専攻区	【専門種目】 授業科目	配当年次	単位数		備考	
			選択必修	選択		
生物資源学 の 授 業 科 目	【分子生物学】				①【分子生物学】 【植物資源学】 【分子機能科学】 【応用生化学】 【古生物学】 【創造農学】の いずれかの専門種目 から専攻演習および 専攻実験を12単位修得  ② 30単位以上修得 (①の単位を含む)	
	植物分子生物学	1・2		2		
	応用分子細胞生物学	1・2		2		
	分子生物学専攻演習Ⅰ	1	2			
	分子生物学専攻演習Ⅱ	2	2			
	分子生物学専攻実験Ⅰ	1	4			
	分子生物学専攻実験Ⅱ	2	4			
	【植物資源学】					
	遺伝資源学	1・2		2		
	生物生産環境学	1・2		2		
	植物資源学専攻演習Ⅰ	1	2			
	植物資源学専攻演習Ⅱ	2	2			
	植物資源学専攻実験Ⅰ	1	4			
	植物資源学専攻実験Ⅱ	2	4			
	【分子機能科学】					
	微生物機能学	1・2		2		
	食品機能化学	1・2		2		
	分子機能科学専攻演習Ⅰ	1	2			
	分子機能科学専攻演習Ⅱ	2	2			
	分子機能科学専攻実験Ⅰ	1	4			
	分子機能科学専攻実験Ⅱ	2	4			
	【応用生化学】					
	構造生物学	1・2		2		
	生体機能分子工学	1・2		2		
	応用生化学専攻演習Ⅰ	1	2			
	応用生化学専攻演習Ⅱ	2	2			
	応用生化学専攻実験Ⅰ	1	4			
	応用生化学専攻実験Ⅱ	2	4			
	【古生物学】					
	生物進化学	1・2		2		
	地球環境史学	1・2		2		
	古生物学専攻演習Ⅰ	1	2			
	古生物学専攻演習Ⅱ	2	2			
古生物学専攻実験Ⅰ	1	4				
古生物学専攻実験Ⅱ	2	4				
【創造農学】						
実践育種学	1・2		2			
実践園芸学	1・2		2			
創造農学専攻演習Ⅰ	1	2				
創造農学専攻演習Ⅱ	2	2				
創造農学専攻実験Ⅰ	1	4				
創造農学専攻実験Ⅱ	2	4				
専門科目	天然分子機能学	1・2		2		
	生体物理化学	1・2		2		
	地域生態学	1・2		1		
	植物発生遺伝学特論	1・2		1		
	植物感染生理学	1・2		2		
	薬物作用学	1・2		2		
	植生管理学特論	1・2		2		
	英語発表技法	1・2		2		
研究科共通の授業科目	分子進化学特論	1・2		1		
	生命機能有機化学特論	1・2		1		
	光合成特論	1・2		1		
	生殖生物学特論	1・2		1		
	動物遺伝子工学特論	1・2		1		
	細胞培養工学特論	1・2		1		
	食料・農業政策特論	1・2		2		

専攻	区分	【専門種目】 授業科目	配当年次	単位数		備考	
				選択必修	選択		
海洋生物資源学	基礎科目	【水圏生物学】				①所属する専門種目の専攻演習Ⅰ・Ⅱおよび専攻実験Ⅰ・Ⅱを12単位修得  ②所属する専門種目の講義科目を2単位修得  ③基礎科目の講義科目を12単位以上修得（②の単位を含む）  ④30単位以上修得（①～③の単位を含む）	
		藻類学	1・2	2			
		水圏生態学	1・2	2			
		水圏生物学専攻演習Ⅰ	1	2			
		水圏生物学専攻演習Ⅱ	2	2			
		水圏生物学専攻実験Ⅰ	1	4			
		水圏生物学専攻実験Ⅱ	2	4			
		【海洋生物培養学】					
		海洋生物培養学	1・2	2			
		海洋生物育成学	1・2	2			
		海洋生物培養学専攻演習Ⅰ	1	2			
		海洋生物培養学専攻演習Ⅱ	2	2			
		海洋生物培養学専攻実験Ⅰ	1	4			
		海洋生物培養学専攻実験Ⅱ	2	4			
		【海洋生態環境学】					
		海洋生態工学	1・2	2			
		海洋微生物生態学	1・2	2			
		海洋生態環境学専攻演習Ⅰ	1	2			
		海洋生態環境学専攻演習Ⅱ	2	2			
		海洋生態環境学専攻実験Ⅰ	1	4			
		海洋生態環境学専攻実験Ⅱ	2	4			
		【海洋生物資源利用学】					
		生物資源利用学	1・2	2			
		食品機能化学	1・2	2			
		海洋生物資源利用学専攻演習Ⅰ	1	2			
		海洋生物資源利用学専攻演習Ⅱ	2	2			
		海洋生物資源利用学専攻実験Ⅰ	1	4			
		海洋生物資源利用学専攻実験Ⅱ	2	4			
		【海洋情報科学・社会科学】					
		海洋情報科学・社会科学	1・2	2			
		海洋情報科学・社会科学専攻演習Ⅰ	1	2			
		海洋情報科学・社会科学専攻演習Ⅱ	2	2			
		海洋情報科学・社会科学専攻実習Ⅰ	1	4			
海洋情報科学・社会科学専攻実習Ⅱ	2	4					
の授業科目	専門科目	専門特別講義Ⅰ	1・2		1		
		専門特別講義Ⅱ	1・2		1		
		専門特別講義Ⅲ	1・2		1		
		専門特別講義Ⅳ	1・2		1		
		専門特別講義Ⅴ	1・2		2		
		専門特別講義Ⅵ	1・2		2		
		水圏植物学特論Ⅰ	1・2		1		
		水圏植物学特論Ⅱ	1・2		1		
		海洋生物培養学特論Ⅰ	1・2		1		
		海洋生物培養学特論Ⅱ	1・2		1		
		海洋生態環境学特論Ⅰ	1・2		1		
		海洋生態環境学特論Ⅱ	1・2		1		
		海洋生物資源利用学特論Ⅰ	1・2		1		
		海洋生物資源利用学特論Ⅱ	1・2		1		
		水産政策学特論	1・2		1		
		海洋ビジネス論	1・2		1		
		水圏遺伝資源学特論	1・2		1		
		研究科共通の授業科目		分子進化学特論	1・2		1
				生命機能有機化学特論	1・2		1
				光合成特論	1・2		1
生殖生物学特論	1・2				1		
動物遺伝子工学特論	1・2				1		
細胞培養工学特論	1・2				1		
食料・農業政策特論	1・2				2		

## (2) 博士後期課程

専攻	区分	【専門種目】 授業科目	配当年次	単位数		備考
				選択必修	選択	
生物資源学専攻	専門科目	【分子生物学】 分子生物学特別演習	1～2	4		いずれかの授業科目を4単位修得
		【植物資源学】 植物資源学特別演習	1～2	4		
		【分子機能科学】 分子機能科学特別演習	1～2	4		
		【応用生化学】 応用生化学特別演習	1～2	4		
		【古生物学】 古生物学特別演習	1～2	4		
		【創造農学】 創造農学特別演習	1～2	4		
海洋生物資源学専攻	専門科目	【水圏生物学】 水圏生物学特別演習	1～2	4		いずれかの授業科目を4単位修得
		【海洋生物培養学】 海洋生物培養学特別演習	1～2	4		
		【海洋生態環境学】 海洋生態環境学特別演習	1～2	4		
		【海洋生物資源利用学】 海洋生物資源利用学特別演習	1～2	4		
		【海洋情報科学・社会科学】 海洋情報科学・社会科学特別演習	1～2	4		

## 3 看護福祉学研究科授業科目

## (1) 修士課程

## ① 看護学専攻

●は必修、○は選択

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			選択必修	選択	
共通科目	精神健康学特論	1		2	専攻する看護学の特論、演習および特別研究16単位を含む30単位以上修得する。  特別研究が修士論文指導となる。 なお、社会福祉学専攻の専攻科目および本研究科の指定する経済・経営学研究科の授業科目を合わせて6単位まで含めることができる。
	環境保健学特論	1		2	
	保健・福祉研究方法論	1		2	
	コミュニケーション特論	1		2	
看護学専攻 共通科目	看護理論	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護研究方法論	1		2	
	看護政策論	1		2	
	看護倫理学	1		2	
	看護管理論	1		2	
専攻 科目	看護マネジメント学特論	1	4	┐	
	看護マネジメント学演習	1	2		
	看護マネジメント学特別研究	2	10	┘	
	基礎看護学特論	1	4	┐	
	基礎看護学演習	1	2		
	基礎看護学特別研究	2	10	┘	
	成人看護学特論	1	4	┐	
	成人看護学演習	1	2		
	成人看護学特別研究	2	10	┘	
	老年看護学特論	1	4	┐	
	老年看護学演習	1	2		
	老年看護学特別研究	2	10	┘	
	母性看護学特論	1	4	┐	
	母性看護学演習	1	2		
	母性看護学特別研究	2	10	┘	
	小児看護学特論	1	4	┐	
	小児看護学演習	1	2		
	小児看護学特別研究	2	10	┘	
	精神看護学特論	1	4	┐	
	精神看護学演習	1	2		
	精神看護学特別研究	2	10	┘	
	地域・在宅看護学特論	1	4	┐	
	地域・在宅看護学演習	1	2		
	地域・在宅看護学特別研究	2	10	┘	
公衆衛生看護学特論	1	4	┐		
公衆衛生看護学演習	1	2			
公衆衛生看護学特別研究	2	10	┘		
成人・老年保健学特論	1		4		
成人・老年保健学演習	1		2		
養護概説特論	1		2		
養護概説演習	1		2		
研究科・ 経営学 の授業 科目	経済理論	1		2	
	日本経済史特論	1		2	
	ワークショップ(地方行政論)	1		2	
	現代企業論	1		2	
	人的資源管理特論	1		2	

② 社会福祉学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法
			選択必修	選択	
共通科目	精神健康学特論	1		2	「修士論文指導」とそれに直結する「特論」、「演習」の12単位および共通科目4単位を含む30単位以上を修得する。
	環境保健学特論	1		2	
	保健・福祉研究方法論	1		2	
	コミュニケーション特論	1		2	
専攻科目	社会福祉学特論	1	2	1	なお、看護学専攻の専攻科目および本研究科の指定する経済・経営学研究科の授業科目を合わせて6単位まで含めることができる。
	社会福祉学演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会政策特論	1	2	1	
	社会政策演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会保障特論	1	2	1	
	社会保障演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会福祉援助特論（個別）	1	2	1	
	社会福祉援助演習（個別）	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会福祉援助特論（集団）	1	2	1	
	社会福祉援助演習（集団）	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会福祉援助特論（地域）	1	2	1	
	社会福祉援助演習（地域）	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	社会調査特論	1	2	1	
	社会調査演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	精神保健福祉特論	1	2	1	
	精神保健福祉演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	精神保健学特論	1	2	1	
	精神保健学演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	児童・家庭福祉特論	1	2	1	
	児童・家庭福祉演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	高齢者福祉特論	1	2	1	
	高齢者福祉演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
	障害者福祉特論	1	2	1	
	障害者福祉演習	2	2	1	
	修士論文指導	2	8	1	
権利擁護特論	1	2	1		
権利擁護演習	2	2	1		
修士論文指導	2	8	1		
国際福祉特論	1	2	1		
国際福祉演習	2	2	1		
修士論文指導	2	8	1		
医療人類学特論	1	2	1		
医療人類学演習	2	2	1		
修士論文指導	2	8	1		
社会福祉管理・経営特論	1		2		
社会福祉環境特論	1		2		
学校ソーシャルワーク特論	1		2		
福祉教育特論	1		2		
経済・経営学 研究の 授業科目	経済理論	1		2	
	日本経済史特論	1		2	
	ワークショップ（地方行政論）	1		2	
	現代企業論	1		2	
	人的資源管理特論	1		2	



## 4 健康生活科学研究科授業科目

## (1) 博士後期課程

## ① 健康生活科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択必修		
共通科目	健康生活科学特論	1	2		共通科目必修4単位、専門科目必修2単位、専門科目選択科目から4単位、特別研究科目6単位、計16単位以上修得する。  特別研究が修士論文指導となる。	
	研究倫理特論	1	2			
専門科目	健康基礎科学領域	健康科学特論	1	2		
		看護実践開発演習	1			4
		健康バイオマーカー演習	1			4
	健康領域生活探究	健康福祉学特論	1	2		
		保健医療福祉演習	1			4
		地域包括ケア演習	1			4
特別研究科目	健康基礎科学特別研究	1	6			
	健康生活探究特別研究	1	6			